

筑前町立大刀洗平和記念館 見学ガイド



筑前町

もくじ

大刀洗平和記念館館内マップ	1～2
戦争について調べてみましょう	3
なぜここに「平和記念館」があるのでしょうか	4
飛行機があった頃はどんな時代だった？	5
大刀洗飛行場の施設や近くに住む人々の生活	6
「大刀洗空襲」で、多くの人々の命が失われました	7
大刀洗飛行場と「特攻」について	8
戦争で亡くなった方が遺したもの	9
戦争で亡くなった方々を忘れないために	10
なぜ日本は特攻をはじめたのでしょうか？（新館）	11
特攻で戦死した若者たち（新館）	12
大刀洗飛行場史	13
戦跡マップ	14

館内 MAP



当時の航空技術

- ② 大空を夢見て
- ③ 牙え渡る航空技術

導入部・飛行場の概要

- ① ここが大刀洗飛行場



大刀洗飛行場の様子



大刀洗平和記念館 外観

新 館

⑬ 特別攻撃隊とは



大刀洗飛行場と人々の生活

- ④ 大刀洗飛行場のあゆみ
- ⑤ 大刀洗飛行場とともに

大刀洗空襲と特攻隊

- ⑥ 破られた静寂
- ⑦ 特攻と大刀洗飛行場
- ⑧ 遺された言葉と想い

追憶の部屋

- せんか
⑨ 戦禍の彼方に



屋外展示

⑭ MH2000ヘリコプター



大刀洗の空を守った部隊

- ⑩ 第四戦隊の邀撃と超重爆 (2F)
ようげき

2F 催し会場

(定期的に企画内容が変わります)

- ⑪ 企画展示会場
- ⑫ 図書閲覧コーナー

戦争について調べてみましょう

日本の戦争への道

陸軍大刀洗飛行場は、第一次世界大戦が終結した翌年、大正8年(1919)に誕生しました。その後日本は、昭和12年(1937)の日中戦争、昭和16年(1941)の太平洋戦争に突入します。

飛行場誕生の前には、日清戦争、日露戦争という大きな戦争もありました。これらの日本の戦争の歴史と、戦争前後にあった主な出来事を学ぶことができる大型年表を館の中央に設置しています。



昭和3年(1928)、中国へ出動する部隊



年表には、大刀洗飛行場の歴史とともに、世界や日本の出来事と航空史を紹介しています。

飛行兵は少年たちのあこがれでした

昭和15年(1940)に開校した大刀洗陸軍飛行学校は、パイロットを養成する学校でした。パイロットは少年たちのあこがれの的で、入学するのは非常に難しいことでした。現在の中学生くらいの年齢になると、多くの少年たちは兵士に志願し、また女子も挺身隊として軍需工場などで働き戦争を支えました。特攻が始まると飛行学校出身の少年飛行兵の多くが、特攻隊員として出撃していきました。



戦争中の人々の生活は？

戦時下の日本ではぜいたく品が禁止され、衣服は女子はもんぺ、男子は国民服を着ることが決められました。昭和17年(1942)からは衣料切符制による配給が始まります。学校の教育内容も大きく変えられ、教科書は兵器や軍隊が登場する内容になりました。子どもたちの遊び道具や紙芝居の内容も戦争一色となりました。



兵器や飛行機の柄をプリントした衣服



国防婦人会による消火活動訓練



松根油をガソリンの代用としました



なぜここに「平和記念館」があるのでしょうか？

筑前町立大刀洗平和記念館があるこの場所には、戦前に広大な「大刀洗飛行場」がありました。誕生したのは大正8年（1919）、西日本最大の航空基地でした。

ところが、終戦の年である昭和20年（1945）の3月27日と31日、米軍機の大編隊による激しい空襲があり、飛行場は、わずか26年でその姿を消してしまいました。空襲では基地で働いていた人々や、幼い子供を含む数多くの命が失われた悲しい歴史があります。また、この飛行場は数多くの若き特攻隊員の出撃を見送るなど特攻隊ゆかりの地でもあります。筑前町では、この地域で起きたことを忘れずに語り継ぐため、そして皆さんに戦争のない今の幸せ、平和のありがたさやその大切さを感じてもらいたいと考え、平和記念館を設立しました。

平和記念館にはこんな資料や展示品があります。



大刀洗飛行場のあった場所と大きさが示されている現在の航空写真

（表示場所：館内マップ ①）



大刀洗飛行場の当時の様子がわかる航空写真



大刀洗飛行場の格納庫及び偵察機

（表示場所：館内マップ ①、詳しい情報は館内マップ ④）



館の入口にある肖像は大刀洗飛行場から出撃した特攻隊員です



飛行場があった頃はどんな時代だったのでしょうか？



飛行機が登場し、飛躍的に進歩した時代でした。

ライト兄弟が飛行機の初飛行に成功したのは明治36年(1903)。大刀洗飛行場が完成したのは、それからわずか16年後の大正8年(1919)でした。

登場したばかりの飛行機が人々の期待を担っていた時代で、多くの先進国が技術を競い合いました。日本の航空技術もこの頃大きく発展し、世界最高レベルの飛行機を生み出せるようになっていきました。



「ゼロ戦」という名前で知られる「零式艦上戦闘機」は、当時の日本の優れた航空技術により生み出された名機です。



大刀洗飛行場には昭和4年(1929)から7年間、民間の航空会社の飛行機も発着していました。



優れた航空技術開発は、戦後さまざまな分野に応用され、日本の技術向上に大きく役立ちました。新幹線もそのひとつです。



屠龍(とりゅう)



ユングマン

館内には、大刀洗飛行場の空を舞った様々な飛行機の模型を展示しています。

福岡で最新型の飛行機が作られていた！



福岡では米国の爆撃機を迎え撃つための、最新型の飛行機が開発されていました。結局実戦に使われることなく終戦を迎えた為、「幻の戦闘機・震電」と言われています。館内には震電(実物大模型)を展示しています。



震電(しんでん)

九州で最新型の飛行機が作られていたなんて、全然知らなかったよ。



Q

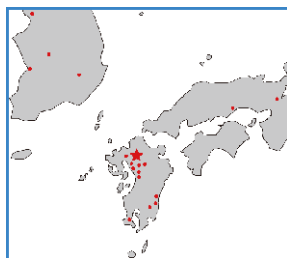
大刀洗飛行場の施設や近くに住んでいた人々の生活はどんなものだったのでしょうか？

A

航空部隊や飛行学校などさまざまな施設があり、飛行場のまわりは多くの人でにぎわっていました。

憧れの飛行学校

大刀洗飛行場は、大陸への中継基地として設立され、偵察や戦闘を任務とする航空部隊が配備されていました。やがて第二次世界大戦が始まる頃から、飛行兵(パイロット)や航空関連技術者を育てる学校が次々と作られました。全国から多くの兵や少年たちを迎え入れるようになり、飛行場の最盛期を迎えました。



- ★ 大刀洗陸軍飛行学校 本校及び分教所
- 大刀洗陸軍飛行学校 分教所(分校)



14歳で飛行学校に入隊することができました

飛行学校には私たちと同じくらいの年れいで入隊した人もいたんだね。



教練の様子



落下傘の折り畳み訓練

活気づくまち

飛行場が出来るまで人家も多くなかったこの土地は、飛行場の発展とともに大きく変化しました。最も飛行場がにぎわっていた頃、飛行場に近い太刀洗駅では、毎日1万～2万もの人々が乗り降りしました。飛行場の門の前には多くのお店がたち並び活気にあふれていました。旅館や写真館、ビリヤードのお店もありました。



営門前の商店を写した貴重な写真です。当時のにぎわいを伝える写真は、残念ながらほとんど残っていません。



伊藤理髪館前



サイドカーに乗った郵便夫



大刀洗飛行場は空襲にあったのでしょうか？



「大刀洗空襲」により、多くの人々の命が失われました。

飛行場と周辺
施設は壊滅して
しまったんだ。



昭和20年(1945)3月27日、それまで空襲のなかったこの場所に米軍機(B-29)の大編隊が現れ、1,000発近い爆弾が投下されました。

さらに4日後の31日にも空襲があり、飛行場はこの大空襲によって大きな被害を受け、主要な建物は破壊し尽くされてしまいました。大刀洗飛行場には計7回の空襲があり、飛行場とその周辺では、多くの人々の命が失われました。



工場や飛行機の格納庫が爆撃の対象ですが、飛行場周辺にも多くの爆弾が落とされました。



空襲で投下された爆弾の破片

この町にも空襲があつて多くの人が
なくなったなんて
知らなかったわ。



下校中の小学生も被害にあいました

空襲により亡くなった方の数は明確ではありませんが、600人から1,000人を超えと言われています。犠牲者の中には、集団下校途中の幼い子どもたちも含まれています。学校近くの森に逃げ込んだ子どもたちの近くに爆弾が落ち、31名もの幼い命が失われました。



赤色の梓か森に逃げ込んで亡くなった4年生



小学生が爆撃による被害にあった場所

【頓田の森の悲劇】

一瞬にして失われた31名の幼い命

その日、甘木生徒隊の近くにあった立石国民学校(現:朝倉市立立石小学校)では終業式が行われていました。その最中に空襲警報が鳴り響き、子どもたちは引率者に連れられて素早く地域別に下校。一ツ木地域の児童が甘木生徒隊付近まで来たとき、大刀洗飛行場に爆弾が落ち始めたのです。

引率者は、このまま子どもたちを一ツ木に帰すことは危ないと判断します。今来た道を引き返し、学校近くの「頓田の森」へ避難するよう指示を出しました。森の中に逃げ込んだ子どもたちが木の周りで伏せの姿勢を取った直後、悲劇が起きたのです。

B-29が投下した爆弾が頓田の森を直撃。不運にも小学生24名が一瞬にして爆死し、後に7名が病院で息を引き取る大惨事となったのです。



「特攻」とはどのような攻撃でしょうか？また 大刀洗飛行場と「特攻」について教えてください

「特攻」とは「特別攻撃」のこと、爆弾を積んだ飛行機や船などで、乗組員もろとも敵に体当たりをする攻撃のことです。

生き残る可能性がほとんどない、死を覚悟した戦法でした。飛行機を使った特攻による戦死者は約4,000人にものぼるといわれます。



出撃命令が出た直後に終戦を迎えた特攻隊、第三〇三振武隊、第三〇四振武隊。



特攻用に専用の兵器も開発されました。写真はロケット型の兵器で「桜花」と言います。

特攻隊員には
17歳という若い
隊員も含まれて
いました。



大刀洗飛行場と「特攻」

大刀洗飛行場にあった大刀洗陸軍飛行学校は、特攻隊員になった多くの飛行兵が教育を受けました。特攻隊の基地として有名な鹿児島県の知覧は、その分教所のひとつでした。また、大刀洗から特攻に出撃した部隊もありました。昭和20年（1945）の2月、5月、8月に、待機中の部隊に出撃命令が出されました。5月に出撃した4機「さくら弾機・ト号機」に関しては、詳しい資料を展示しています。

大刀洗からの直接特攻作戦。さくら弾機

終戦間際、大刀洗飛行場は特攻機の中継基地となっていました。さらに昭和20年（1945）5月25日、大刀洗から直接特攻機が出撃します。爆撃機を改造した「さくら弾機」と「ト号機」です。さくら弾機は特殊爆弾・さくら弾を操縦席後方に装備し、その威力は前方3km、後方300mが吹き飛ぶと言われていました。

出撃したさくら弾機2機が突入しましたが、その結果は記録として残っていません。ト号機2機はアメリカの艦隊を見つけることができずに大刀洗に戻りました。記念館にはさくら弾機の部品やト号機で出撃し、生き残った特攻隊員の話も聞くことができます。



さくら弾機



さくら弾機・ト号機による
特攻隊、飛行第62戦隊



さくら弾機の爆弾倉の扉を展示しています

特攻に出撃する
若者たちは
どんな思いを
持っていたのでしょうか。



A

9

Q 戦争で亡くなった方々を忘れないために施設には どういうものがあるのでしょうか？

A 追憶の部屋と語りの部屋があります。

追憶の部屋～亡くなった方々の記録



大刀洗空襲では、たくさんの人々が命を失いましたが、今日もその正確な数はわかっていません。大刀洗空襲の犠牲者や戦死された大刀洗飛行場関係者の情報を集め、記録に残すことがこの館の重要な使命のひとつです。

「追憶の部屋」では、これまでに明らかになった犠牲者の方々の名前や写真の記録を公開しています。記録の中には、大刀洗飛行場上空の戦いで、B-29に体当たりして命を失った回天制空隊の隊長とともに、撃墜されたB-29の米国人搭乗員11名の情報も含まれています。

語りの部屋～悲劇を再現

語りの部屋では、戦争体験者の手記や詩を朗読し、また映像を上映しています。

シアター映像「大刀洗 1945. 3. 27」は、当時の大刀洗飛行場の様子や人々の暮らし、そして大刀洗空襲などについて知ることができます。(約16分間)

また、戦争を経験した方々が書いた様々な手記や物語を、朗読により伝えます。(約15～20分間)



B-29による本土空襲と、迎え撃った部隊 [2F]

館の天井に吊り下げられた飛行機のかたちをした銀色のフレームは、アメリカ軍が日本を空襲する主力として使用した爆撃機・B-29の大きさを表しています。その高性能で巨大なB-29を迎え撃つ役割を担った山口県小月の「飛行第四戦隊」は、B-29の1/3にも満たない「屠龍(とりゅう)」という戦闘機で攻撃を行っていました。昭和20年4月18日には大刀洗上空でB-29への体当たり攻撃を行っています。

B-29による本格的な空襲は、昭和19年(1944)6月より始まり、東京をはじめとする日本の主要都市のほとんどが攻撃の対象となりました。

空襲は昭和20年(1945)8月15日の終戦当日まで続き、広島・長崎の原爆による死者も含め、約56万人以上※もの人々が命を失いました。※行方不明者も多数

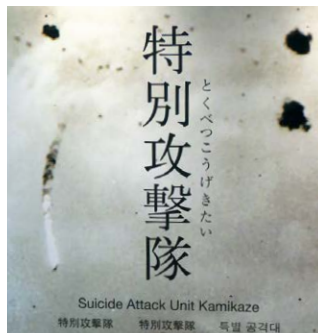


大刀洗上空で体当たり攻撃を受け、つい落ちて炎上する B-29



なぜ日本は特攻をはじめたのでしょうか？

太平洋上の戦いで敗戦が続き、日本軍は窮地に追い込まれます。日本とアメリカの戦力の差も明らかの中で、戦局を挽回する方策として、ついに「特攻」という非常手段へ突き進みます。特攻は爆弾を装備した飛行機や高速艇などで乗組員もろとも敵艦に体当たりするという生きて帰ることが出来ない戦法でした。



新館「特攻」展示コーナー

特攻が行われた場所とは？

特攻は昭和19年（1944）10月、フィリピンのアメリカ艦隊への攻撃から始まりました。当初、特攻による攻撃は、アメリカ艦隊へ大きな損害を与えました。日本は劣勢の戦局を打開しようと、多くの若者が特攻出撃し戦死しました。特別攻撃はフィリピンだけでなく硫黄島、九州南東方面そして沖縄方面と終戦間際まで続けられます。

一方、海軍芙蓉部隊は終戦まで特攻を行うことなくアメリカ軍への夜間攻撃を続けました。



海軍芙蓉部隊

特攻が行われた場所や時期を説明するパネル

朽ち果てた零戦



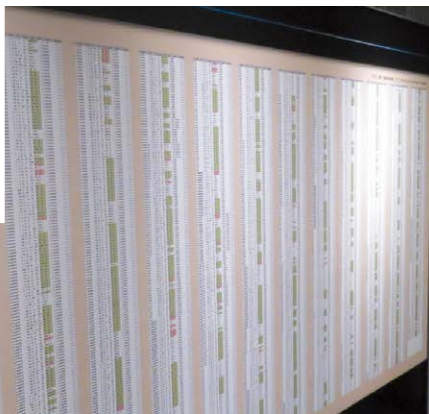
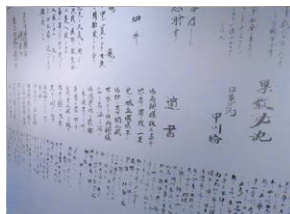
新館に展示している零戦の残骸は、鹿児島県の吹上浜と錦江湾で引き上げられた零戦二一型と五二型の部品です。



零戦エンジン

特攻で戦死した若者たち

新館には、航空特攻で戦死した特攻隊員、陸軍、海軍あわせて約4,000名の名簿を展示しています。名簿は出身ごとに色分けされており、その大半は、陸軍では特別操縦見習士官や少年飛行兵など若い隊員たちでした。海軍も多くは16歳から20歳の予科練出身者でした。戦死した場所・期日や部隊名も記載しています。



富嶽隊の特攻機は重爆撃機「飛龍」。尾翼には富嶽の意味である富士山が描かれている

幸保曹長の遺影

陸軍最初の特攻 富嶽隊と幸保曹長

陸軍最初の特攻隊となった富嶽隊は、昭和19年(1944)11月から翌年1月にかけてフィリピンから特攻出撃しています。特攻に出撃しても、目標を発見できず帰投することもありました。幸保栄治曹長は、昭和19年(1944)11月13日に出撃しましたが、目標を確認できず帰投。周囲に「今度出撃したらかえってきません」と伝えています。11月15日に再出撃し、再び帰って来ることはありませんでした。

よみがえった九七戦 渡辺少尉

本館に展示している九七式戦闘機は、昭和20年(1945)4月に特攻出撃命令を受け、中国大陸から朝鮮半島を経由して特攻基地である知覧へ向かっていました。移動途中、博多湾に不時着し、51年間海に沈んでいた機体です。この機体は平成8年(1996)9月に博多湾から引き揚げられ、特攻の事実を私たちに伝えていますが、4月22日、知覧から別に用意された九七式戦闘機で特攻出撃し戦死しました。24歳でした。



本館に展示している
陸軍九七式戦闘機
(表示場所：館内マップ ⑧)



新館に展示している
渡辺少尉の遺品
(表示場所：館内マップ 13)

	大刀洗飛行場史	日本史・世界史	航空史
1903 (明治36)			・ライト兄弟が世界初の動力飛行成功
1910 (明治43)		・日本、韓国を併合	・日野熊蔵が 日本で飛行機初飛行
1911 (明治44)			・所沢(埼玉県)に日本初の飛行場開設 ・「奈良原式二号機」が国産機初飛行
1919 (大正8)	・大刀洗飛行場完成。飛行第四中隊が 所沢より移駐(後に航空第四大隊へ昇格)		
1922 (大正11)	・飛行第四大隊に改称		
1925 (大正14)	・飛行第四聯隊に昇格、材料廠を設置、 日本最大の航空部隊が駐屯	・普通選挙法	・朝日新聞社のブレゲー式19型 「初風」「東風」が訪欧飛行成功
1929 (昭和4)	・日本航空輸送株式会社大刀洗支所を 設置(昭和11年、福岡市雁ノ巣に移転)		・日本航空輸送が東京～大阪～福岡 (大刀洗)～釜山～京城～大連間で 定期旅客輸送を開始
1931 (昭和6)		・満州事変	・羽田空港が開港
1937 (昭和12)	・渡辺鉄工所野町工場が大刀洗製作所 株式会社として独立	・日中戦争	・三菱神風号が立川(東京) ～ロンドン間 国際記録樹立 ・九七式戦闘機制式採用
1938 (昭和13)	・高射砲第四聯隊開隊(立石村一ツ木) ・飛行第四戦隊と改称	・国家総動員法	
1939 (昭和14)	・国鉄甘木線開通 ・第五航空教育隊開隊 (日本最大の航空教育隊)	・第二次世界大戦	・三菱一二試艦上戦闘機 (零戦) 初飛行
1940 (昭和15)	・材料廠が大刀洗航空廠を経て大刀洗 航空廠に昇格(2棟の大格納庫と 30棟の施設を持ち、廠内の工員養成 所を発足) ・飛行第四戦隊、熊本・菊地飛行場に 移駐(17年11月山口・小月飛行場に 最終移駐) ・大刀洗陸軍飛行学校開校	・日独伊三国同盟成立	
1941 (昭和16)		・太平洋戦争(～45)	
1943 (昭和18)	・技能者養成所開所(4月) ・大刀洗陸軍飛行学校・甘木生徒隊に 少年飛行兵2,000名入校	・ガダルカナル島撤退 ・学徒出陣	
1944 (昭和19)	・大刀洗北飛行場建設開始 ・大刀洗陸軍飛行学校に 特別幹部候補生3,000名入校	・特攻隊初出撃 ・レイテ沖海戦	
1945 (昭和20)	・大刀洗陸軍飛行学校にて 特攻隊編成(2月) ・大刀洗北飛行場完成(2月) ・大刀洗大空襲(3月) ・4機の重爆特攻隊が沖縄へ 直接出撃(5月)	・福岡大空襲(6月) ・広島・長崎に原子爆弾投下 (8月) ・日本政府、 ボツダム宣言受諾決定(8月)	・九州飛行機J7W1 「震電」の試験飛行開始(8月)

今も残る大刀洗飛行場の戦跡



監的壕



大刀洗飛行場の南側にあった池のほとりに設置されていた建造物で、軍用機による射撃訓練に使われていました。

第五航空教育隊正門



昭和14年(1939)に開隊した航空技術兵の学校「第五航空教育隊」の正門です。正門は平成22年1月当館に移設されたものです。

北飛行場

筑前町役場

立石平和の碑

筑後小郡IC

航空廠

第五航空教育隊

技能者養成所

城山

掩体壕



敵の攻撃から飛行機を守るための格納庫。飛行場周辺にはいくつも造られました。現存はこの掩体壕のみ。高さ7m30cm、幅44m。

太刀洗(航空機)製作所

掩体壕

筑前町

飛行第四連隊

太刀洗町
大刀洗平和記念館

大刀洗町

大刀洗町役場

大刀洗飛行場

平和の碑

筑前町役場



昭和20年(1945)3月の米軍による爆撃で600人以上の人が犠牲になり、その内の身元不明者の遺骨はこの地に埋葬されました。

飛行第四連隊(飛行学校)正門



大正8年(1919)、大刀洗飛行場にて開隊した「飛行第四連(戦)隊」の正門として長く使用されました。

甘木生徒隊

頼田の森



昭和20年(1945)3月27日午前10時ごろ大刀洗飛行場を目標とする米軍のB29爆撃機が投下した爆弾が、立石国民学校の児童が避難した頼田の森を直撃。

頼田の森

朝倉市

※戦跡の位置は戦跡マップや館内案内モニターで確認できます

憲兵分遣隊舎の煉瓦塙



大正8年(1919)12月に、久留米憲兵隊甘木分遣所(後に大刀洗分遣隊)として発足しました。部隊や周辺の治安を担当していました。

時計台跡



この白い慰霊碑は、もともと飛行第四連(戦)隊の本部庁舎前庭に時計塔として設置されていたものです。

飛行隊井戸



飛行第四連(戦)隊や大刀洗陸軍飛行学校が使用していた大井戸の跡で、直径が6.5メートルもあります。

北飛行場



昭和20年(1945)2月に完成した滑走路で、もとは幅50メートル、長さ1,800メートルありました。

甘木公園



朝倉市にある甘木公園には飛行第98戦隊、大刀洗陸軍飛行学校甘木生徒隊・甘木女子挺身隊等の慰霊碑が建立されています。

MEMO

スタンプ欄



筑前町立大刀洗平和記念館

〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田2561-1
TEL:0946-23-1227 FAX:0946-23-9009
E-mail:tachiarai-heiwa@jewel.ocn.ne.jp
2021年3月改訂